

分担研究報告書

若年成人男性がん患者における精子凍結後の心理教育プログラムの動画制作

研究分担者 小泉智恵 聖マリアンナ医科大学医学部産婦人科学 非常勤講師

研究要旨

精子凍結後の若年成人男性がん者の自己効力感の回復と抑うつを目的として開発された心理教育プログラムの動画資材を制作した。動画は32分と長いので、飽きずに視聴できるよう工夫を凝らしたが、長時間確保できない対象者が脱落する可能性は否めない。脱落症例を減らす工夫を加えた研究計画が必要である。

研究代表者：
鈴木直（聖マリアンナ医科大学産婦人科学）

研究分担者：
杉下陽堂（聖マリアンナ医科大学産婦人科学）
西山博之（筑波大学医学医療系腎泌尿器外科）

岡田弘（獨協医科大学埼玉医療センターリ
プロダクションセンター）
湯村寧（横浜市立大学附属市民総合医療セ
ンター生殖医療センター）

研究協力者：
吹谷和代（聖マリアンナ医科大学産婦人科学）

A. 研究目的

本研究の目的は、若年成人男性がん患者の心理社会的な特性・ニーズを反映した精子凍結後の心理教育プログラムの開発研究を行い、その効果を検証することである。心理教育プログラムは2017年度に開発したが、その効果の検証研究を実施する際、対象者が仕事などで多忙のため一同に会してプログラムを受講することが難しいこと、提供する心理士の人数が不足していることから、プログラムを動画で作成して対象者の便宜を図り研究参加を容易にすることと

した。そこで2018年度は動画資材の作成をおこなった。

B. 研究方法

1. 動画資材の制作会社の選定

動画制作会社数社と討論したり、過去の制作作品を試聴したりして、プログラムの本質を保つことができる動画制作会社を選定した。

2. 制作過程

動画制作会社の担当者に心理教育プログラムを見せて重要な点などを伝えた。それを基に制作会社が台本を作成した。制作会社と研究者が何度も討論を重ね、5回ほど試作を重ねて制作を完了した。

C. 研究結果

飽きないで最後まで視聴してもらうための工夫として、ナビゲーターによる語りかけ、パワーポイントスライドによる情報提供、医師・心理士のインタビュー、ナレーターと静止画による架空場面、心理描写といったパターンをそれぞれ撮影、制作し、組み合わせた。

プログラムの内容でポイントとなる部分は、医師・心理士のインタビュー、パワーポイントやテロップによる情報の文字化と

整理、ナビゲーターによる語りかけを組み合わせて、情報が正確に伝わり、印象に残るように工夫した。

動画は合計 32 分であった。

D. 考察

精子凍結後の若年成人男性がん者の自己効力感の回復と抑うつ低減を目的として開発された心理教育プログラムの動画資料を制作した。

動画は合計 32 分と長くなった。日常生活で多忙の対象者にとって 30 分以上の時間をまとめて取ることは困難であり、研究から脱落する症例が多くなるのが懸念される。そのため、脱落症例を多く見込む必要と、脱落症例を減らす工夫を検討する必要がある。

E. 結論

精子凍結後の若年成人男性がん者の自己効力感の回復と抑うつ低減を目的として開発された心理教育プログラムの動画資料を制作した。動画は 32 分と長いため、飽きずに視聴できるよう工夫を凝らしたが、長時間確保できない対象者が脱落する可能性は否めない。脱落症例を減らす工夫を加えた研究計画が必要である。

F. 健康危険情報

なし。

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表

Koizumi T, Nara K, Hashimoto T, Takamizawa S, Sugimoto K, Suzuki N, Morimoto Y. Influence of Negative Emotional Expressions on the Outcomes

of Shared Decision-making During Oncofertility Consultations in Japan. *Journal of Adolescent and Young Adult Oncology*, 2018(7):4, 504-508.

Shiraishi E, Sugimoto K, Shapiro JS, Ito Y, Kamoshita K, Kusuhara A, Haino T, Koizumi T, Okamoto A, Suzuki, N. Study of the Awareness of Adoption as a Family-Building Option Among Oncofertility Stakeholders in Japan. *Journal of global oncology*. 2018(4):1-7

奈良和子・小泉智恵・吉田沙蘭・渡邊裕美・林美智子 妊孕性温存における心理支援と心理職の役割 日本がん・生殖医療学会誌. 2019: 2:1; 57-61.

小泉智恵 2019 がん・生殖医療における心理ケア 『新・不妊ケア ABC』 p.225-226 医歯薬出版.

2. 学会発表

小泉智恵・吹谷和代・奈良和子・宮川智子・橋本知子・杉下陽堂・鈴木直 若年女性がん患者に対する心理社会的支援の介入効果: システマティック・レビューと RESPECT 試験プロトコール 日本がん・生殖医療学会第 10 回学術集会、2019/2/10、岐阜

小泉智恵・鈴木由妃・杉下陽堂・奈良和子・宮川智子・杉本公平・中島美佐子・鈴木直 乳がん女性とその夫の妊孕性温存に関する心理教育プログラム (O!PEACE) の効果評価: 多施設合同によるランダム化比較試験 日本生殖心理学会第 16 回学術集会、2019/2/24、東京

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

なし。